

## 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針に則る情報公開

現在, 下総精神医療センターでは, 院長の許可を得て, 以下の研究を行っています。

この研究は「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」（令和 3 年 3 月 23 日）第 4 章 インフォームド・コンセント等の規定に基づき, 該当となられる患者様から直接同意をいただく代わりに, この情報公開をもってご同意をいただいているものとして実施しています。本研究の対象となる患者様で, 研究対象となることを望まれない場合は, 問合せ窓口までご連絡ください。研究に協力されない場合も, 不利益な扱いを受けることは一切ありません。

1 研究課題名	ヒトの行動を司る 2 つの中枢作用に関する研究
2 研究実施期間	2025 年（令和 7 年）3 月 31 日まで
3 研究の対象	2012 年 4 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日までの期間に、下総精神医療センター-10 病棟に入院し、条件反射制御法の規定に従って制御刺激を 200 回、疑似を 200 回、想像を 200 回終えた方で、初めてこれら 3 つのステージのすべてを完了した入院での変化を対象とします。
4 研究に用いる情報の種類	病歴、症状、治療内容、治療後の経過等の、診療録に記載された情報
5 情報の利用目的および利用方法	本研究は、条件反射制御法による治療を受けられた患者さんがどのような反応を示す傾向があったのかを明らかにすることにより、第一信号系と第二信号系が別々に作動していること、すなわち中枢が 2 つあるというヒトが行動する本当のメカニズムを示そうとするものです。 得られた情報は、個人を特定することが可能な情報を削除した上で、同じように条件反射制御法による治療を受けられた患者さんの情報を集めたデータベースとして解析担当者に送られ、統計的に解析されます。

6 利用する情報の項目	①年齢、性別、入院形態、精神症状の有無など基本臨床背景 ②治療の契機となった反復性逸脱行動の日時および内容 ③医学的診断名 ④入院年月日と退院年月日、入院中の診療担当者名 ⑤反復性逸脱行動により受けた処分、対応とその回数 ⑥条件反射制御法を用いた治療への反応とその経過
7 利用する者の範囲	<当院の研究責任者> データの収集および個人が特定可能な情報を削除したデータベースの作成 <データ解析担当者> 個人が特定可能な情報を削除したデータベースを用いた解析
8 情報の管理について責任を有する者の氏名	国立病院機構 下総精神医療センター 薬物依存治療部長 平井 慎二
9 試料・情報の利用を停止したい時は	「3 研究の対象」に該当する患者様、またはその代理者の方が、本研究の研究者による情報の利用を停止したい時は、10の連絡先へご連絡下さい。ただちに情報の利用を停止します。なお、研究実施期間を過ぎますと（令和7年4月1日以降）、データベースの中でどのデータがご連絡を頂いた患者様のデータかを判別できないため、削除ができなくなることをご了承ください。その場合でも、解析後の結果を公表する際に、個人が特定可能な形で公開されることはありません。
10 連絡方法	独立行政法人国立病院機構 下総精神医療センター 薬物依存治療部長 平井 慎二 連絡先：043-291-1221（代）

情報公開日 2024年5月